

生いたち 修学時代 -I



尋常小学校1年生ころの吉盛と祖母

米田吉盛は、1898 (明治31) 年 11月 10日、父・米田良吉と母・サヨシの長男として愛媛県喜多郡満穂村 (現 内子町) 論田に生まれました。

曾祖父・米田兵吉は明治初期に米田家当主として田畑・山林を合計 3 万㎡近く所有し、祖父・米田森太郎は満穂村の助役や村会議員をつとめています。しかし吉盛が生まれて一年ほどで両親が離婚し父も家を出たため、吉盛は祖母のクマに育てられました。



満穂南尋常小学校を卒業した吉盛は、自分一人で生きていくことを決意します。まず京都の呉服屋で一年ほど丁稚奉公をし、その後台湾に渡り、「台北の山本金物店」で働いて重用されました。当時の台湾は第一次世界大戦後の景気に沸き、開放された天地といわれていました。



(上)「山本金物店」と思われる店舗が面する通り・基隆市
1937 年 [台湾デジタルアーカイブ「國家文化資料庫」]
(下)「山本金物店」付近の現在

